

中広土192

2015・1・15(木) TEL78-2024 文責:校長

【学校教育目標】自主・自律

【めざす生徒像】

- 1 学ぶ楽しさを知り、意欲的に根気強く学ぶ生徒
- 2 互いを尊重し、高め合う生徒
- 3 心身共に健康で安全な生活を築く生徒

後期後半(3学期)の登校日数 3年生45日!

1・2年生は51日 学習の総決算を!



上の写真は1月8日の全校集会のときのものです。後期後半(かつての3学期)が始まりました。全校集会では、生徒たちに目標を持って継続して努力することの大切さを話しました。さて、3学期は登校日数が少ないのですが、1年を締めくくるとても大切な時期です。3年生にとっては、義務教育終了の卒業式があるだけでなく、卒業後の進路を決めなくてはならないときです。また、1・2年生は進級を控え、1年間の学習の総まとめをする時期です。どの学年とも、1～3月は進路や学年の評定に直結する大事なテストが続きますので、万全の状態です。健康管理もしっかり行ってください。

今後の入試やテストの日程(※入試は本校生徒に関係するもののみ掲載)

- 【1月】16日(金) 尚志高校推薦入試、帝京安積高校推薦入試
- 17日(土) 福島高専推薦入試
- 20日(火) 日大東北高校推薦入試
- 21日(水) 3年生後期期末テスト
- 28日(水) 1・2年生NR T標準学力検査
- 【2月】3日(火)、4日(水) 県立高校Ⅰ期選抜入試
- 20日(金) 1・2年生後期期末テスト
- 【3月】10日(火)、11日(水) 県立高校Ⅱ期選抜入試

積雪時は長靴の利用を!

今日は午後から湿った雪。登校時に積雪があり足下が濡れてしまう場合は、長靴を利用してかまいません。

シートベルト装着の徹底を!

一年で最も寒い時期となっていますので、自転車通学生も家の車での送迎となっている生徒が多いようです。車に乗せてもらう場合は、次のことをしっかり行ってください。

- ①シートベルトはどの座席でもしっかりつける。
- ②車のドアをあける場合は、前後から車が来ていないか、確認してから行う。

責任感のある子どもに育てるために・・・!

生徒たちはいずれ大人になり、社会人として自分の人生を送ります。この生活に必要な資質の一つが、人間関係を円滑に保っていくための責任感であり、これが人から信頼される生き方の基本となります。ある本に紹介されていた責任感あふれる子どもに育てる10のポイントとは・・・

- ①年齢相応の責任を持つ仕事を継続的にさせる。
- ②責任を果たしたことを認め、きちんと子どもにそれを認識させる。
- ③頼んだ仕事をやり遂げた子どもに対し、感謝の言葉を伝える。
- ④集団の一員としての自覚を促す。
- ⑤成長に応じて、小さな責任から大きな責任へと発展させる。
- ⑥互助の心を養う。
- ⑦完成、完遂、成就の喜びを味わわせる。
- ⑧相手の立場を考慮する態度を事あるたびに求める。
- ⑨自分の行動のために他人が迷惑を受けないか意識するよう指導する。
- ⑩責任ある行動の一つ一つが、信頼され必要とされる人間に高めていくのだということを事あるたびに説き、親もその生き方を実践してみせる。

田村市立志式が行われました！



昨日、田村市文化センターにおいて、田村市内の中学2年生全員が出席し、立志式が行われました。式では田村市民憲章唱和の後、教育長より立志式の趣旨をふまえ、中学生に対する式辞がありました。立志証書の授与は、学校ごとに行われ、滝根中学校では吉田〇〇くんが代表で田村市長より立志証書を受け取りました。(写真上)その後、市長と議会議長より激励の言葉がありました。最後に、本校生徒会長の冨塚〇〇さんと常葉中の生徒が市内の2年生を代表して「立志の言葉」を述べました。立志式に引き続いての記念講演では、深海探査機『江戸っ子1号』で8000mの海底調査に挑んだ町工場と学生の共同プロジェクトについて、中小企業応援センターコーディネーターの桂川正巳氏がその取り組みの様子を話してくれました。

阪神淡路大震災から20年・・・

1995年1月17日の早朝に阪神淡路大震災が起こりました。高速道路の橋脚が折れたり、地震後発生した火災により、神戸の町が壊滅的な被害を受けるとともに、6千人以上の犠牲者が出たものでした。震災後10年余りで神戸の町は地震の爪痕がわかならいほど建物は復興されましたが、心の傷は何年経っても、癒えない場合もあると思われます。さて、阪神淡路大震災のときには、ボランティア元年といえるほど、人々の助け合いの精神がクローズアップされた年でもありました。また、多くの犠牲者が出たことから家族の在り方についても考えさせられる事例も多くありました。家族は、大きな出来事があれば、家族で助け合い、励まし合って物事に対処すると思います。でも日頃は、時としてお互いに思いやりの気持ちを忘れがちになり、家庭内でいさかいを起こすこともあるかもしれませんが、家庭はいつも安らぎの場になるようみんなで心がけたいものです。

※右の作文は、阪神淡路大震災で父親を亡くした保育園児が書いたもので、震災後にある新聞に掲載されたものです。家族の絆の大切さ、家族の在り方、自分の生き方まで考えさせられます。



インフルエンザ予防のために！

- マスク着用 ○手洗い、うがいを行う。
- 室内の換気 ○室内を乾燥させない。
- 規則正しい生活と十分な睡眠時間の確保
- インフルエンザ流行時は人混みに行かない。

インフルエンザ罹患時の出席停止期間

○インフルエンザ発症日を0日目として、5日を経過し、かつ解熱後2日を経過していること。
※インフルエンザ流行防止のため、出席停止期間にご理解とご協力を！

高校入試よいよスタート！

明日の帝京安積高校と尚志高校の入試を皮切りに、いよいよ3年生の高校入試がスタートします。私立高校の入試に挑む生徒数は、3校(帝京安積、尚志、日大東北)合わせて17名が受験する予定です。入試の場合は基本的に公共交通機関を利用して入試会場に行くこととなります。可否結果に関しては、合格発表当日の夕方に、中学校で生徒へ直接伝えることとなります。なお、生徒個人の入試結果について電話等での問い合わせには、お答えできませんのでご了承ください。



パパへ

パパ、てんごくでなにしているの。

マーちゃんをおそらからみているの。

パパは、じしんでてんごくへいっちゃったから、もうマーちゃんのおうちにはこないの。じしんのまえ、パパとおえかきしたり、おうたをうたったね。

パパのくるまでおかいものにいったね。

パパは、マーちゃんがビールをいれるとおいしそうにのんだね。

また、おうちにきてくれたら、ほいくえんのおはなしもしてあげるよ。

おいしいビールをのましてあげるよ。

てんごくにでんしゃないのかな。

マーちゃんがおおきくなったら、パパのところにいけるの。

それまでマーちゃんのことみててね。

パパ、もういちどマーちゃんのことをだっこしてね。